

2026年3月号

 INVEST IN TÜRKIYE

FDI AGENDA



投資・財務局からのメッセージ

今月は、トルコが複数の分野で成長を継続し、イノベーション、投資、国際協力におけるリーダーとしての地位を確固たるものにした月となりました。トルコは、経済と技術の両分野において力強い勢いを示しており、世界的な不確実性の中でも回復力を発揮していることが、主要な進展によって裏付けられております。

2025年には131億米ドルの外国直接投資（FDI）が流入し、前年比12.2%増という画期的な成果を達成しました。この急増は、多くの世界市場が課題に直面している時期に起こっており、トルコが主要な投資先としての魅力を維持していることを浮き彫りにしています。

外交関係と経済関係も著しく進展しております。トルコとギリシャは、投資、海上貿易、経済協力といった重要な分野をカバーする一連の覚書に署名いたしました。これらの合意は、レジェップ・タイップ・エルドアン大統領とギリシャのキリアコス・ミツォタキス首相が共同議長を務めるハイレベル協力評議会会合の重要な成果でした。

同時に、トルコが世界の技術とイノベーション分野で存在感を増していることは、Web Summit Qatar において明らかでした。同イベントでは、45 のトルコ系スタートアップ企業と起業家からなる代表団が、同国の活気あるデジタルエコシステムを紹介しました。トルコが主要な国際イベントへの参加を拡大していることは、同国が技術およびスタートアップ分野において競争優位性を有していることを示しています。

投資・財務局も設立 20 周年を迎え、ドーハにおいて投資、金融、起業家精神の各分野から主要な関係者が一堂に会しました。この記念式典は、レジェップ・タイップ・エルドアン大統領の指導のもと、過去 20 年間にトルコが達成した経済的・構造的変革を、投資の観点から国際投資家の皆様と共有することを目的とした、世界規模の一連のイベントの一環をなすものです。

一方、トルコエネルギー天然資源省とサウジアラビアの ACWA パワー社との間で協定が締結され、トルコの再生可能エネルギー容量の拡大に寄与することとなり、トルコのエネルギー部門は大きな後押しを受けました。ドイツで開催された「E-world Energy & Water 2026」においても、トルコが持続可能な成長に取り組んでいることが強調されました。同イベントでは、エネルギー転換の未来について議論するため、業界のリーダーたちが一堂に会しました。

これらの進展に加え、多様な分野における大規模な投資が行われております。ウーバー・テクノロジーズとゲティルの提携もその一例であり、デジタルコマース分野における著しい拡大を示しております。同様に、スコープリーによるルーム・ゲームズの買収は、トルコのスタートアップ企業を 10 億米ドル以上と評価するもので、世界のゲーム産業において高まるトルコの影響力をさらに確固たるものとするものでした。

トルコが国際社会における存在感を高め続ける中、投資・財務局は引き続き、同国の国際競争力の向上、イノベーションの促進、そして持続可能な成長を推進する国際的なパートナーシップの構築に尽力してまいります。



A・ブラク・ダールオール投資・財務局総裁



トルコとギリシャ、ハイレベル協力協議会で投資と技術に関する覚書に署名

トルコとギリシャは、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領とギリシャのキリアコス・ミツォタキス首相が共同議長を務める第6回ハイレベル協力評議会会議の後、投資、海上貿易、経済協力、科学技術に関する一連の覚書に署名しました。

二国間会談の後、両首脳はトルコ・ギリシャハイレベル協力評議会第6回会合を主宰しました。会合は正式な調印式をもって終了し、エルドアン大統領とミツォタキス首相はトルコ共和国政府とギリシャ共和国政府間の共同宣言に署名しました。これにより両国政府は、二国間関係の深化に向けた共通の決意を改めて確認しました。

共同記者会見において、エルドアン大統領は新たに署名された文書が二国間関係の契約的枠組みを強化するとの確信を表明しました。

「本日署名した文書が、両国関係の契約上の基盤をさらに強化することを願っております。2025年に約70億米ドルに達した二国間貿易を100億米ドルに拡大するという目標達成に向け、引き続き努力してまいります」と大統領は述べました。

主な合意事項としては、トルコ共和国大統領府投資・財務局とギリシャの投資・対外貿易機関であるエンタープライズ・ギリシャとの協力に関する覚書が挙げられます。

覚書は、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオール氏と、ギリシャ外務次官のハリス・テオハリス氏によって署名されました。

本覚書は、投資動向や新たな機会に関する情報交換とコミュニケーションの強化を図るとともに、両国の関連するビジネス組織やエコシステム間の連携を強化することを目的としております。

投資協力に加え、覚書は幅広い戦略的分野をカバーしております。両国は、海上貿易と物流の連携強化、地域的な多国間枠組みにおける協力の深化、災害対策における調整の強化、ならびに文化・科学・技術分野における協力の拡大に取り組むことを確認しました。

これらの覚書は、経済、社会、そしてイノベーション主導の分野にわたる二国間協力を制度化し、多様化させるという共通の意図を反映しております。



トルコとサウジアラビアの ACWA 社が大規模な再生可能エネルギー投資に関する協定に調印

トルコの再生可能エネルギー能力強化に向けた重要な一歩として、トルコエネルギー天然資源省とサウジアラビアの ACWA パワー社は、イスタンブールにて画期的な合意書に調印しました。

発電分野における大規模投資に焦点を当てた本合意は、トルコ共和国（Türkiye）のエネルギー分野に大きく貢献することが期待されています。

本合意に基づき、トルコ全土において、合計最大 5,000 メガワット（MW）の太陽光発電所および風力発電所が開発されます。第一段階では、中央アナトリア地方のシヴァス県およびカラマン県における、総出力 2,000 メガワットの太陽光発電所の建設に重点を置きます。

エネルギー・天然資源大臣アルパルスラン・バイラクトル氏は、シヴァス及びタシェリ太陽光発電所プロジェクトの調印式典終了後、報道陣に対し挨拶を述べました。

大臣は、世界的な電力需要の急激な増加を強調し、トルコも同様の成長を経験していると述べました。「本日調印する本プロジェクトは、2,000 メガワットの新規再生可能エネルギー発電容量を確保するものであり、極めて重要です」。

バイラクトル大臣はまた、この投資がトルコのエネルギー分野における最も重要な外国直接投資（FDI）の一つであることを強調しました。エネルギー需要の高まりに対応する取り組みの一環として、同氏は国内のエネルギーインフラを強化する計画を明らかにしました。

トルコは 2035 年までに太陽光および風力発電の設備容量を 12 万 MW とする目標を掲げており、インフラ整備に推定 300 億米ドルの投資が行われる見込みです。

バイラクトル大臣によると、シヴァス及びタシェリにおける再生可能エネルギー事業は、手頃な価格で信頼性が高く高品質な電力を供給することを目的としており、トルコの電力コスト削減において重要な役割を果たすものとされています。さらに、国際金融機関がこれらのプロジェクトに強い関心を示しており、欧州復興開発銀行（EBRD）と国際金融公社（IFC）が支援の意向を示していることを指摘しました。

太陽光発電所の建設は、2027 年に開始される見込みです。第一段階は同年末までに完了する予定であり、全プロジェクトは 2028 年および 2029 年に完了する見込みです。



シムシェク大臣、AIULa 会議にてトルコの経済的回復力について議論

財務大臣のメフメト・シムシェク氏は、世界的な不確実性の時期を経て、同国の経済は現在より均衡が取れ、回復力のある状態にあると述べました。

サウジアラビアで開催された AIULa 新興市場経済会議（ACEME）において、シムシェク大臣は、財務大臣、中央銀行総裁、政策立案者、国際機関の指導者、グローバル投資家、学識経験者らが年次で集うこの場で、トルコが近年、主要な経済的脆弱性を軽減してきたと述べました。

大臣は、世界経済にとって最も困難な局面は過ぎ去ったと代表団に述べ、さらに政策調整と構造改革を背景に、トルコのマクロ経済枠組みが強化されたと付け加えました。

シムシェク大臣は、外国直接投資（FDI）の重要性を強調し、金融資本を提供するだけでなく、技術移転や専門知識の共有を支援する上で極めて重要であると述べました。

大臣は、トルコの成長と貿易実績がより均衡の取れた見通しを反映していると述べ、同国輸出の約 62% が外国直接投資（FDI）企業に関連していると指摘しました。

世界的な貿易摩擦と保護主義的な措置の高まりについて、シムシェク大臣は、トルコのサービス輸出はこうした圧力にもかかわらず堅調さを維持していると述べ、同国が商業サービス活動において世界トップ 20 にランクインしていると付け加えました。

大臣は、外国直接投資（FDI）が今後も経済安定の基盤としての役割を果たし続ける可能性があるとして述べました。





カチル大臣とフランス・フォリシエ大臣がビリスィム・ヴァディシにて会談、技術連携強化に向け協議

トルコ産業技術大臣メフメト・ファティフ・カチル氏は、ビリスィム・ヴァディシにて、フランス外務貿易担当大臣兼在外フランス人担当大臣ニコラ・フォリシエ氏と会談しました。両大臣は、高付加価値製造業、研究開発、デジタル変革における戦略的協力関係の深化について協議しました。

ビリスィム・ヴァディシのイスタンブールキャンパスで開催された本会談では、両国の代表団が一堂に会し、産業基盤の強化、技術起業の促進、そして欧州全体の製造業競争力強化に向けた方策について協議しました。

会合では、トルコの先進的な産業インフラが欧州の生産エコシステムにとって戦略的に重要であると説明されるとともに、グリーン転換と先端技術分野における協力拡大についても議論が行われました。

カチル大臣は、目的は単に二国間貿易を拡大することではなく、双方の技術的能力を高める長期的な戦略的パートナーシップを構築することであると述べました。

公式協議の後、各代表団はキャンパスを見学し、Go 起業支援オフィスを訪問しました。そこで、地元のテクノロジー系スタートアップ企業の代表者と面会しました。カチル大臣は、トルコのイノベーション・エコシステムにおける最近の進展について概説し、防衛産業からモビリティ技術に至るまで幅広い分野を網羅する研究開発主導型モデルを強調しました。

両大臣は、自国経済の国際競争力を強化する上で、信頼に基づく長期的な協力の重要性を強調しました。

デジタル化とグリーン移行が議題の中心を占めました。欧州連合のグリーンディール目標の文脈において、トルコの産業適応能力は、フランス人投資家にとって重要な機会として注目されました。

カチル大臣は、トルコの産業基盤が欧州のバリューチェーンにおいてより大きな役割を担う可能性があるとして述べ、さらにイノベーション主導のパートナーシップが二国間のみならず欧州市場全体において付加価値を生み出す可能性があるとして付け加えました。

会談後の声明において、双方はトルコとフランスの経済関係が、付加価値生産と技術協力を中心にますます再構築されていると述べました。

両大臣は、共同研究開発プロジェクトの拡大、起業家エコシステムの統合、技術的専門知識の結集に向けた取り組みを改めて確認しました。

この会合は、フランスのテクノロジー企業が今後、トルコのテクノパークや研究開発センターとの連携を強化する可能性を示すものと広く受け止められました。



トルコとフランスの経済協力は引き続き進展

トルコとフランスは、イスタンブールにて第8回共同経済貿易委員会（JETCO）会合を開催しました。本会合は、トルコ貿易大臣オメル・ボラト氏とフランス外務貿易・経済誘致担当大臣ニコラ・フォリシエ氏の共同議長のもとで行われました。

会談において、ボラト大臣はフランスとトルコ間の二国間貿易額が5年前の140億米ドルから2025年には241億米ドルに増加したことを発表し、両国間の貿易は依然として均衡を保ち、多様な分野に広がっていると述べました。

トルコによるフランスへの投資額は10億米ドルに達し、一方フランスによるトルコへの投資額は87億米ドルに増加しました。現在、トルコ国内では防衛、エネルギー、サービス、運輸、航空など様々な産業分野において、合計1,749社のフランス企業が事業を展開しています。

会議では、貿易、投資、契約サービスにおける協力拡大の機会、ならびに第三国における共同プロジェクトについて協議されました。両国は今後3年間で総額50億米ドルに上るフランス企業による新たな投資・プロジェクトの可能性について協議しました。特にエネルギー、インフラ、製造業、サービス分野における取り組みが焦点となりました。アフリカ、東欧、中央アジア、中東における協力の見通しについても議論が行われました。

物流の接続性については、セートとヤロヴァ間のRo-Ro航路をはじめ、南仏の港湾におけるトルコ系物流企業の事業展開を含め、二国間貿易の促進という観点から議論されました。

トルコと EU の関係、ならびに関税同盟下で進行中の技術的協議も議題に上りました。

第 8 回 JETCO 会合は、トルコとフランスの経済関係のさらなる深化、ならびに二国間貿易・投資の拡大に重点を置いて閉幕しました。





トルコのテクノロジー系スタートアップ企業が、ウェブサミット・カタールにてグローバルな投資を模索

世界有数のテクノロジーとイノベーションの集いである「ウェブサミット・カタール」において、ドーハにて数千人の起業家、投資家、政策立案者、業界リーダーが一堂に会しました。これは中東地域が世界の技術ハブとして重要性を増していることを示しています。

ドーハ・エキシビション・アンド・コンベンション・センター（DECC）で開催された本イベントには、175カ国から3万人を超える参加者が集まりました。

本年開催のサミットには、700名を超える投資家、1,500社以上のスタートアップ企業、300名以上の講演者、そして約450名の国際メディア関係者が参加しました。

トルコからは、同国の起業エコシステムに関わる投資家や主要関係者、さらに45のテクノロジー系スタートアップ企業を含む大規模な代表団が参加しました。

今回の参加は、トルコがスタートアップ環境をグローバルな投資ネットワークにおいてより顕著な位置に置くための取り組みを浮き彫りにしています。

投資・財務局長のA・ブラク・ダールオール氏は、「ハブから高成長へ」と題されたセッションにパネリストとして参加しました。本セッションでは、イノベーション・エコシステムの拡大と持続可能な長期的投資機会の創出に焦点を当てて議論が行われました。議論の中で、ダールオール氏はトルコのデジタル化とグリーン転換における戦略的優先事項を強調しました。

「デジタル化とグリーン転換は二つの大きな課題です。私たちの戦略では、スタートアップ企業と企業組織の双方を支援してトルコの変革に貢献してまいります」とダールオール氏は述べました。同氏はまた、同国の強固

な産業基盤と多様化したサービス部門に言及し、トルコが国際的な投資家に対して幅広い機会を提供していると述べました。

ダールオール氏は、ウェブサミット・カタールが今年で3回目の開催となることを踏まえ、これまでカタールではテクノロジー系スタートアップ企業を対象とした投資プログラムが開始されてきたと述べました。これらの取り組みを通じて、主要な地域関係者と協力し、技術に焦点を当てた投資ファンドが設立されました。

これらの資金のおかげで、トルコを拠点とするテクノロジー系スタートアップ企業は過去3年間で投資を確保できたと、同氏は述べました。

「私たちの目標は、トルコのテクノロジー起業家がこの地域の投資資源を活用できると同時に、潜在的な顧客へのアクセスも得られるようにすることです。同時に、このサミットはスタートアップ企業にとって、グローバルな競争環境、顧客の期待、業界の動向を直接観察する貴重な機会を提供します」とダールオール氏は付け加えました。

ウェブサミット・カタールの一環として、投資・財務局はトルコ・パビリオンに参加し、駐トルコカタール大使のムスタファ・ゲクス博士ならびに投資・財務局長のA・ブラク・ダールオール氏が、国際的なパートナーと会談し、進行中の取り組みおよび協力の可能性のある分野について協議しました。

ウェブサミット・カタールは、各国がグローバルな技術エコシステムにおける存在感を強化しようとする中、また参加者がAI、技術地政学、創造経済、持続可能なエネルギーに及ぶ議論を交わす中で、国境を越えた協力、投資、イノベーションのための重要なプラットフォームとしての役割を果たし続けています。



中国銀行アンカラ支店開設によるトルコと中国の金融関係の強化

中国銀行アンカラ支店の開業式典ならびに人民元業務推進・顧客感謝イベントがアンカラにて開催され、トルコと中国の金融協力における重要な節目となりました。

本イベントには、投資・財務局長官の A・ブラク・ダールオール氏、財務省次官のオスマン・チェリック氏、トルコ国家資産基金 CEO のアルダ・エルムット氏、中国銀行会長の葛海蛟氏、駐トルコ中国大使の姜学斌氏をはじめ、金融界・経済界の代表者が出席しました。

ダールオール氏は発言の中で、今回の開所式が二国間協力の制度化が進み、深化し、長期的な性質を強く示すものであると強調しました。中国銀行が昨年、世界中で新たに開設する国際支店を 1 行のみとし、その拠点としてトルコ（アンカラ市）を選定したことに言及し、ダールオール氏はトルコに付与された戦略的重要性を強調しました。

また、両国間の経済関係の深化がますます進んでいることを強調し、2002 年以降、中国からトルコへの直接投資総額は 50 億米ドルを超えていると述べました。現在トルコ国内で事業を展開している中国企業は 1,400 社以上にのぼり、両国間の関係は貿易を超え、生産、雇用、技術分野へと拡大を続けています。これにより、トルコが投資の拠点としての役割を強化しています。

スピーチの後、中国銀行とトルコ航空の間で戦略的協力協定が調印されました。プログラムには、中国銀行とトルコ国家資産基金（Türkiye Wealth Fund）との間で別途行われた調印式も含まれていました。





UGiK' 26 においてトルコが形作る起業の未来

「未来：今日」をテーマに開催された国際若手実業家会議（UGiK' 26）では、若手起業家、ビジネスリーダー、政策立案者が一堂に会し、起業家精神とリーダーシップの未来について議論を交わしました。

開会セッションにおいて、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオール氏は、起業家精神とは、特に不確実な時代において、リーダーシップと価値創造に根ざした考え方であると強調しました。

2025 年にトルコにおいて、初期段階のテクノロジー系スタートアップ企業へ約 7 億米ドルが投資されたことを踏まえ、同氏はトルコとイスタンブールが、強力な公共政策と成熟したイノベーション・エコシステムに支えられ、国内外の起業家にとってのグローバル・ハブとしての地位を確立していることを強調しました。

MUSIAD のブルハン・オズデミル会長は、次世代は企業を築くことに留まらず、市場や倫理基準を形作ることに取り組む必要があると強調しました。また、意味や長期的な影響を欠いた成長は拒否すべきであると述べました。

リーダーシップの観点から、ヤング MUSIAD 会長のマグスム・ウスタ氏は、持続的なリーダーシップは傾聴、規律、一貫性によって築かれると強調し、若手起業家に対し、真の影響力は深み、倫理観、そして持続的な努力から生まれることを改めて訴えました。

本会議は、投資と革新の接点において次世代を育成するというトルコのビジョンを強調しました。





トルコ共和国、ファーマアップ・ミートアップにおいて自国のイノベーション・エコシステムを強調

サノフィ・ファーマアップ・ミートアップは、イスタンブールにて、テクノロジー分野の起業家、投資家、官民セクターの代表者、そして学界の関係者を一堂に会しました。投資・財務局長の A・ブラク・ダールオール氏、サノフィ・ユーラシア地域社長のジェム・オズトゥルク氏、ファーク・ラボ創設者のアフ・セルテル氏のご参加のもと開催された本会合では、医療技術における変革について、多様なステークホルダーの視点から議論が行われました。

基調講演において、ダールオール氏は、医療分野がデジタル化、データ駆動型アプローチ、革新的なビジネスモデルによって形作られ、地域レベルと国際レベルの両方で深い変革を遂げていることを強調しました。同氏は、持続可能で価値を生み出す協業の重要性が高まっていることを強調し、医療エコシステム全体での連携が競争力の強化と国際市場におけるシェア拡大に不可欠であると述べました。

ダールオール氏は、フィンテックとゲーム分野におけるトルコの確かな実績に言及し、同国をディープテックとヘルスケアイノベーションの主要な拠点として位置づけるという明確な野心を表明しました。

同氏は、ファンド・オブ・ファンズ機構の拡大とセクター特化型ベンチャーキャピタル構造の進展を強調し、投資・財務局がトルコの医療イノベーション能力を強化し、国際的に価値を創出する取り組みを支援する姿勢を改めて表明しました。

これらの取り組みは、トルコが医療イノベーションのエコシステムを拡大し、国際資本を誘致し、技術・製造・投資の結節点としての地位を強化する決意を示しています。





トルコ・米国投資パートナーシップが、米国商工会議所トルコ支部総会において勢いを加速

投資・財務局は、米国商工会議所トルコ支部（AmCham Türkiye）の第22回総会に参加しました。本総会には、在イスタンブール米国総領事のマイケル・ラリー氏をはじめ、米国企業の主要な代表者が出席しました。

投資・財務局長のA・ブラク・ダールオール氏は発言の中で、加速する世界経済の変革の中で、外国直接投資（FDI）の戦略的重要性が高まっていることを強調しました。

事務所設立20周年を記念し、ダールオール氏は、トルコが市場規模、経済的回復力、強固なインフラ、接続性、長期的な予測可能性に支えられ、信頼できる戦略的拠点としての地位を強化し続けていることを強調しました。

世界的な不確実性にもかかわらず、トルコは2025年に外国直接投資（FDI）の流入額が12.2%増加し、131億米ドルに達しました。2025年現在、米国との投資関係は均衡を保ち、堅調に推移しています。トルコの対米投資額は139億米ドルに達し、一方、米国の対トルコ投資額は159億米ドルとなりました。

本会議は、2025年度の成果を振り返り、今後の優先事項について意見を交換する絶好の機会となりました。

トルコ米国商工会議所（AmCham Türkiye）のエムレ・カルテル会長は、トルコと米国の経済関係が引き続き強化され、1000億ドルの二国間貿易目標達成が近づいていることを強調しました。

トルコは、投資の要としての地位を強化し続け、国際的な協力を推進し、持続可能で変革をもたらすプロジェクトを育成しています。



トルコは 2025 年に 131 億米ドルの外国直接投資 (FDI) を誘致

トルコ共和国中央銀行が発表した国際収支データによると、トルコは 2025 年に 131 億米ドルの外国直接投資 (FDI) を誘致し、前年比 12.2% の増加を記録しました。

この上昇は、世界的な投資の流れが依然として低調な時期に起こっており、厳しい国際環境の中でトルコが好ましい方向へ動いていることを浮き彫りにしています。

年間を通じて、オランダが 28 億 6300 万米ドルでトルコへの最大の投資国となり、次いでルクセンブルクが 11 億 6400 万米ドル、カザフスタンが 11 億 3800 万米ドルとなりました。

ドイツ、アメリカ、フランス、アラブ首長国連邦、スイス、イギリス、アイルランドも主要な投資元国として名を連ねており、トルコが多様な地域にまたがる投資家基盤を有していることを反映しています。

業種別に見ると、2025 年には卸売・小売業が外国直接投資 (FDI) の最大のシェアを集め、総流入額の 32% にあたる 30 億 5200 万米ドルを占めました。

製造業が 31% で 30 億 2000 万ドル、情報通信業が 14% で 13 億 800 万ドルと続きました。この分布は、生産、貿易、および技術主導型セクターへの投資の集中を浮き彫りにしています。

世界的に、外国直接投資 (FDI) の流れは弱いままであり、発展途上国への投資は 2% 減少しました。こうした状況の中、トルコの年間 12.2% の増加率は、同国を世界的な傾向を上回る成長を遂げている国々の仲間入りを果たすものとなりました。

投資環境の強化を目的とした改革が、この良好な業績に貢献しました。2024 年に発表された HIT-30 プログラムに基づくプロジェクトの開始、2025 年のインセンティブ制度の更新、気候法の導入、そしてデジタル変革における取り組みは、投資家の信頼を支える進展の一つでした。

投資家との継続的な対話と予測可能性の向上を目的とした政策により、国際資本の誘致におけるトルコの競争的優位性がさらに強化されました。

財務・財政大臣のメフメト・シムシェク氏は、この数値について次のように述べました。不動産を除く外国直接投資 (FDI) の流入額は、資金調達の質を向上させ生産能力を拡大するものであり、2025 年には 107 億米ドルに達し、過去 10 年間で最高水準を記録しました。

一方、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオール氏は、世界的な投資停滞期におけるトルコの業績は、同国の構造的優位性と改革アジェンダの成果を反映していると述べました。

「レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領が示されたビジョンに沿い、私たちはトルコ世紀を投資の世紀とすべく、確固たる決意をもって取り組みを続けてまいります。2025 年には、国際的なテクノロジーブランドによる投資と、トルコのテクノロジー系スタートアップ企業に向けた資金提供が顕著でした。

製造および物流分野への投資により、グローバル・バリューチェーンにおけるトルコの地位がさらに強化されました。強固な生産基盤、有能な人材、そして戦略的な立地条件を備えたトルコは、世界の要衝としてグローバル投資家にとっての魅力を高め続けております」と同氏は述べました。



Türkiye Attracts USD 13.1 Billion of FDI in 2025

FDI Breakdown by Country TOP 10 COUNTRIES (USD MILLION)

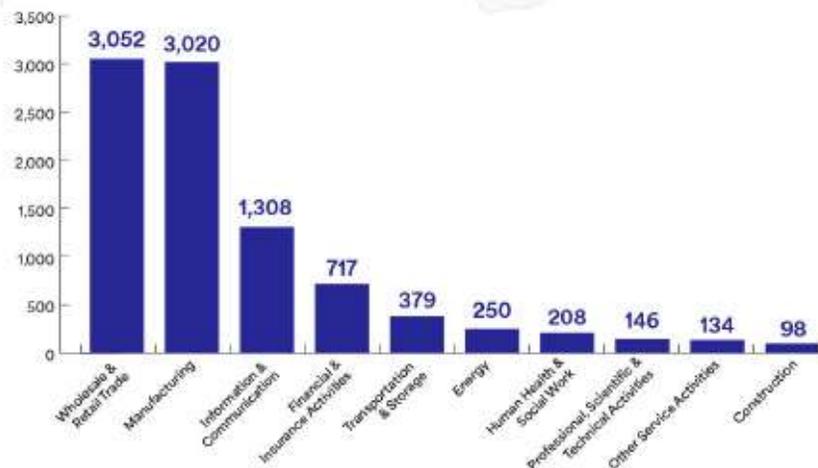


FDI Inflows (USD BILLION)

↑ %12.2



FDI Breakdown by Sector TOP 10 SECTORS (USD MILLION)



Sources: Central Bank of the Republic of Türkiye (CBRT)



投資・財務局、設立 20 周年を記念しつつ、ドーハにおいてトルコの投資ビジョンを強調

投資・財務局は「卓越の 20 年」をテーマに設立 20 周年を迎え、ドーハにてレセプションを開催いたしました。本イベントには、投資、金融、起業エコシステムにおける主要な関係者が一堂に会しました。

このレセプションは、主要な国際都市で開催される一連の国際会議の一環として企画されたもので、トルコが過去 20 年間にわたり投資の道程に貢献してきた長年のパートナーと交流を図りつつ、世界の投資環境における同国の地位強化を目的としております。

トルコ共和国大使館（ドーハ）との共催により開催されたレセプションには、ビジネス界および投資界の主要な代表者、ならびにトルコのテクノロジー起業家およびエコシステム関係者が出席しました。

本イベントはまた、トルコの投資ビジョン、制度的能力、そして高付加価値でイノベーション主導の成長を促進するための長期的な取り組みを強調する場となりました。

レセプションを共催したドーハ駐在トルコ大使、ムスタファ・ゲクス氏は、トルコとカタールの強固な関係を強調し、公的機関と民間セクター間の持続的な対話の重要性を述べました。同氏は、トルコの起業家精神と技術エコシステムの国際的な認知度が高まっていることを強調し、人工知能やデジタルヘルスから再生可能エネルギー、ソフトウェア、先進的製造に至るまで、様々な分野でその存在感を拡大している点を指摘しました。

投資・財務局副局長フルカン・カラヤカ氏は挨拶の中で、トルコとカタール間の経済・投資協力関係が深化している点に言及しました。

同氏は、カタールによるトルコへの累積投資額が 2002 年以降 35 億米ドルを超え、現在の対外直接投資残高は約 70 億米ドルに達していると述べました。

カラヤカ氏はまた、現在 240 社を超えるカタール資本の企業が、金融、インフラ、物流、不動産、技術、医療などの主要分野においてトルコ国内で事業を展開していることを強調しました。これは二国間投資関係の規模と多様性を反映するものです。

この枠組みにおいて、参加企業および関係者は、新たな投資分野について意見を交換し、トルコとカタール間の経済協力の一層の強化に向けた道筋を探りました。

投資・財務局は、グローバルなネットワークと 20 年にわたる組織的な経験を通じて、技術と革新を原動力とする高付加価値投資の促進を続けてまいります。設立 20 周年を迎えるにあたり、当事務所はトルコが世界の要衝としての地位を確固たるものとし、国際投資における競争力ある拠点としての役割を推進してまいります。



投資・財務局、TIF 2026 においてトルコの観光業の成長を強調

TTYD が主催し、投資・財務局およびトルコ観光振興開発庁（TGA）との戦略的パートナーシップのもと開催された「TIF | ツーリズム・インベストメント・フォーラム 2026」では、持続可能な成長、投資環境、観光資金調達について議論するため、官民のリーダーが集結しました。

フォーラムで発言した投資・財務局副局長ベキル・ポラト氏は、中核となる原則「すべての観光客は潜在的な投資家」を強調しました。ポラト氏は、トルコのインフラ、人的資本、そして接続性の優位性を強調し、観光業が投資家の信頼を強化する上で持つ乗数効果について言及しました。ポラト氏はまた、トルコが 2025 年 1 月から 11 月までの 11 か月間で 124 億米ドルの外国直接投資（FDI）を誘致し、前年同期比 27.6% 増加したことを指摘しました。さらに、世界の投資家が現在では単なる優遇措置よりもエコシステムを優先していると強調しました。

TTYD 会長のオヤ・ナリン氏は、同セクターの力強い回復と長期的な収益見通しを指摘しました。一方、イスタンブール商工会議所副会長のシェキブ・アヴダーチ氏は、イスタンブールの観光と会議開催の可能性を強調し、北キプロス・トルコ共和国（TRNC）副首相のフクル・アタオウル氏は、同国における投資の競争力を強調しました。

このフォーラムは、トルコが投資の要衝としての地位を強化し、持続可能な成長ビジョンを推進する場となりました。



投資・財務局主催のネットワーキング集会におけるトルコと英国の金融関係の強化

トルコ・英国金融サービス交流会には、トルコおよび国際的な金融サービス業界から 100 名を超える上級リーダーの方々が集まりました。投資・財務局が主催し、在ロンドン・トルコ大使館および英国ビジネス・貿易省との共催により開催された招待制イベントは、金融サービス分野における二国間対話を促進しました。

駐英国トルコ大使のコライ・エルタシュ氏、投資・財務局カントリーアドバイザーのエルソイ・エルカザンジュ氏、英国ビジネス・貿易省対内投資部長のゼイネップ・アタイ・オズテクバシュ氏、ならびにナザル税務・法務サービス創設パートナーのエルシン・ナザル氏より、開会の挨拶が述べられました。

エルカザンジュ氏は演説の中で、対話を具体的な協力関係へと発展させる重要性を強調し、ロンドンの世界的な金融リーダーシップと、進行中の自由貿易協定交渉の戦略的意義について言及しました。同氏はまた、同事務局が金融サービス分野において拡大する役割を強調し、特にグリーンファイナンス、フィンテック、参加型金融、およびイスタンブール金融センターに焦点を当てています。この会合は、トルコが金融の要衝としての地位を強化し、両国間の構造化された成果重視の連携を推進するものでした。

The image shows the Uber logo in white and the getir logo in yellow, both set against a dark blue background. A vertical white line separates the two logos.

ウーバー、ゲティルの配送事業ポートフォリオ買収合意により、トルコにおける事業基盤を拡大

ウーバー・テクノロジーズ社は、ムバダラ投資会社よりトルコにおけるゲティルの配送事業ポートフォリオを買収する合意を発表しました。これにより、同地域で最も活気あるデジタルコマース市場の一つにおけるウーバーの事業基盤が大幅に拡大することとなります。本取引は、規制当局の承認および慣例的なクロージング条件を満たすことが前提となりますが、ゲティルの食品・食料品・小売・飲料水配送事業を含む全国規模の事業を対象としております。

今回の買収は、ウーバーがトルコにおいてトレンドヨル・ゴーの過半数の株式を取得したことに続く、長期的な投資戦略におけるさらなる重要な一歩となります。ゲティルの配送サービスとトレンドヨル・ゴーの統合が完了次第、プラットフォームの機能強化、消費者向け商品・サービスの拡充、配達員への新たな収益機会の創出が期待されます。同時に、全国の飲食店や小売業者様への支援も継続してまいります。

本契約の条件に基づき、ゲティルユーザーは引き続きゲティル・スーパーアプリを通じてサービスを利用できます。また、トレンドヨル・ゴーを通じて統合されたレストランオプションが拡充されます。同様に、トレンドヨル・ゴーを利用しているユーザーは、ゲティルの食料品配達サービスに直接アクセスできるようになります。これにより、トルコで急速に成長しているデジタル配送エコシステムの相互運用性が強化され、同国がモビリティとデジタルコマースの結節点としての役割をさらに確固たるものとするでしょう。

最近の合意について、ウーバーのダラ・コスロシャヒ最高経営責任者は、トルコが同社にとって戦略的に重要であることを強調し、同国の活況を呈するデジタル経済と強固な消費者基盤が投資決定の主要な要因であると述べました。一方、ムバダラ・インベストメント・カンパニーのワリード・アル・モカラブ・アル・ムハイリ副グループ最高経営責任者は、この取引がゲティルの事業基盤の強さと成長軌道を反映したものであると述べ、トルコが長期的な投資機会にとって魅力的な市場であり続けていると指摘しました。

ゲティル社のバトゥハン・ギュルタカン最高経営責任者（CEO）は、この合意を同社の成長過程における重要な節目と位置づけ、2015年にイスタンブールでサービスを開始して以来、超高速配達サービス分野における同ブランドの先駆的な役割を強調しました。

ウーバーのトルコに対する幅広い取り組みは、買収を超えて広がっています。同社はまた、同国にソフトウェアおよび技術開発センターを設立する計画を発表しました。今後5年間で2億米ドルの投資を目標としています。本イニシアチブは、ウーバーのグローバルなエンジニアリング能力を強化すると同時に、トルコの拡大するテクノロジーエコシステムとデジタルインフラストラクチャーに貢献することを目的としております。



スコプリー社がルーム・ゲームズの過半数株式を 10 億米ドルの評価額で取得、トルコの新ユニコーン誕生を告げる

サウジアラビア資本の出版社スコプリーは、モバイルゲーム『Pixel Flow!』でブレイクしたイスタンブール拠点のゲーム開発スタジオ、ルーム・ゲームズの過半数の株式を取得する最終合意に達しました。複数年にわたる業績連動型契約により、同社の企業価値は 10 億米ドルを超え、トルコのスタートアップ企業は正式にユニコーン企業としての地位を獲得しました。

2025 年にキュブラ・ギュンドアン氏とエムレ・チェリック氏によって設立されたルーム・ゲームズは、トルコのゲーム業界において最も活気ある企業の一つとして急速に台頭してまいりました。同社のハイブリッドカジュアルパズルゲーム『Pixel Flow!』は、2025 年末にリリース後、短期間で全世界 1,000 万プレイヤーを突破し、過去 12 ヶ月間にリリースされたカジュアルゲームとしては唯一、米国における月間売上高トップ 20 のモバイルゲームにランクインしました。スタジオの約 20 名のチームは、イスタンブールの本社から毎日数百万人のアクティブユーザーを管理しています。

スコプリー社は、この買収を、世界中の優れたクリエイティブチームと提携するという同社の広範な戦略の一環であると説明しました。この取引は、スコプリー社が 2023 年にサウジアラビアの公的投資基金（PIF）による買収を受けたことに続くものであり、成長著しいゲーム市場への継続的な拡大を示しています。財務条件は

明らかにされませんでした。10億米ドルを超える評価額は、スタジオとトルコのゲーム業界全体に対する投資家の強い信頼を裏付けています。

スコプリー社の最高収益責任者であるティム・オブライエン氏は、この取引についてコメントし、チームの迅速と徹底の文化と早期の商業的牽引力を強調しました。特に『Pixel Flow!』が数百万人のプレイヤーに到達し、驚異的なスピードで売上ランキング上位に躍進したことを指摘しました。同氏は、この提携が世界クラスのチームを支援しつつ製品をグローバルに拡大するというスコプリーの長期戦略に沿うものであることを強調しました。

ルーム・ゲームズの最高経営責任者（CEO）であるキュブラ・ギュンドアン氏は、『Pixel Flow!』について、完全に独創的で革新的なプレイヤー体験を創り出すというビジョンから生まれた作品であると述べました。同氏は、スコプリーのエコシステムにより、スタジオが創造的な自律性を保ちつつ、事業拡大とライブ運営におけるグローバルな専門知識の恩恵を受けられると指摘しました。さらに同氏は、この提携は同社だけでなくトルコのゲーム業界全体にとっても新たな章の始まりとなると述べました。

2026年の初めに、ルーム・ゲームズは Arcadia Gaming Partners および e2vc の参加を得てシード投資ラウンドを完了しました。業界関係者は、この買収を画期的なエグジットであると同時に、トルコが EMEA 地域におけるゲーム開発拠点として存在感を増していることを示す強力なメッセージであると見ています。

今回の取引により、ルーム・ゲームズはトルコにおいてユニコーン企業に成長した数少ないゲームスタートアップの一つとなり、同国が世界的に競争力のあるデジタルエンターテインメントベンチャーの拠点としての評価をさらに高めることとなりました。



投資・財務局がドイツにてトルコのエネルギー転換を展示

E-world energy & water 2026 は、ドイツの主要なエネルギー専門家を一堂に集め、エネルギー転換の未来について議論する重要な場を提供しました。

会議では、トルコの進行中のエネルギー転換に関するパネルディスカッションが行われ、戦略的ケーススタディとしてゾングルダク・フィリョス地域が取り上げられました。パネリストとして、投資・財務局立地選定ユニットマネージャーのザヒド・トゥンジェル氏が登壇しました。トゥンジェル氏は挨拶の中で、トルコエネルギー分野における最新の動向を概説し、フィリョス・ゾングルダク地域の戦略的投資可能性を強調しました。さらに、同国がエネルギー転換と産業変革の両方を推進する持続可能性の要としての役割を拡大している点を特に指摘しました。

本イベントの傍らで、投資・財務局の代表団は、主要な国際エネルギー企業および地域の公的機関との間で、一連の高レベル会談を開催しました。議論は、二国間協力の強化、投資機会の模索、相互代表団の訪問促進に焦点を当てました。

代表団はまた、地方自治体およびビジネスエコシステムの代表者と協議を行い、地域連携の推進と、エネルギー分野および産業変革における新たな協力分野の特定に努めました。



サステナビリティ・アンド・ファイナンス・フォーラム 2026 において、トルコのグリーンファイナンスが注目されました

投資・財務局は、英国輸出信用保証局の支援のもと英国ビジネス・貿易省がイスタンブールにて主催する「サステナビリティ・アンド・ファイナンス・フォーラム 2026」に参加しました。

本フォーラムには、英国、トルコ、中央アジア、南コーカサス、バルカン諸国から政府高官、規制当局、金融機関、企業リーダーが集結し、グリーン移行を推進する上で、国際的な連携、資本の調整、効果的な実行の重要性に焦点を当てました。

フォーラムにおいて、投資・財務局金融投資ユニットマネージャーのカアン・マサッチ氏が「持続可能な金融とエネルギーの地域的動向とダイナミクス」と題したセッションの司会を務めました。このセッションでは、公共部門の専門家が集い、グリーン移行の加速、地域協力の強化、持続可能な金融パイプラインの構築について議論が行われました。

さらに、投資・財務局カントリーアドバイザーのエルソイ・エルカザンジュ氏が「社債：「グリーンファイナンスの成功事例」で、持続可能な社債がいかに長期的なレジリエンス、競争力、価値創造のための不可欠なツールとなったかを紹介しました。



トルコの再生可能エネルギーの潜在的可能性を、ソーラー・ファイナンス&インベストメント・サミットにて発表

ソーラー・アンド・ストレージ・ファイナンス・シリーズでは、機関投資家、関係各位、業界リーダーが集結し、ソーラー・ファイナンス&インベストメント・ヨーロッパ・サミットにて、欧州の再生可能エネルギー投資の見通しについて議論しました。

サミットでは、投資・財務局を代表して、カントリーアドバイザーのエネス・ギュゼル氏とプロジェクトマネージャーのラウフ・フラト・ヤシャール氏が登壇者として出席しました。「2026年に機関投資家の資本を獲得する」と題したパネルディスカッションにおいて、ギュゼル氏はトルコの進化する規制枠組み、拡張可能な再生可能エネルギープロジェクトのパイプライン、そして国際投資家にとっての強力な長期的成長可能性について強調しました。

一方、ヤシャール氏は欧州太陽エネルギー市場円卓会議に貢献し、地域市場の動向や国境を越えた協力の機会について見解を共有しました。

これらの取り組みは、トルコが再生可能エネルギー投資における持続可能性の要としての地位を改めて示しました。



第3回トルコ・中国ビジネス会議において、トルコの投資機会を紹介

第3回トルコ・中国ビジネス会議が、DEİK（トルコ産業・企業家連合会）、TÜSİAD（トルコ産業人・実業家協会）、CCPIT（中国国際貿易促進委員会）の共催によりイスタンブールで開催され、トルコの貿易大臣であるオメル・ボラット教授・博士、駐トルコ中国大使の姜学斌氏、中国国際貿易促進委員会主席の任鸿斌氏、ならびに二国間作業部会の代表各位が出席しました。

会議において、投資・財務局の専門家ムサップ・エリイト氏が、中国企業向けにトルコの投資環境を紹介するプレゼンテーションを行いました。投資の要としてのトルコの役割を強化するため、エリイト氏は戦略的分野における投資機会を強調し、最新のデータに基づき同国の戦略的な立地条件を紹介しました。

会議で発言した中国輸出入銀行の王康副行長は、トルコが西アジアにおける中国の主要投資先トップ5にランクインしていることを指摘し、両国間の経済関係の強化が着実に進んでいることを強調しました。



Co-Host:



TÜRKİYE PRIVATE EQUITY AND M&A FORUM 2026

March 27, 2026

Swissotel The Bosphorus İstanbul

Bronze-Host:

KST LAW

Event and Media Partners:

 **TAIDER**  **TTEBA**  **bytv**  **TurkishBritish**





TESTIMONIAL

“We Have Turkish Components in Every Airbus Aircraft”

Johan Pelissier
PRESIDENT OF EUROPE REGION, AIRBUS





TESTIMONIAL

“Türkiye is a Promising Country for FDI”

Toshiaki Hato
REGIONAL CEO, MARUBENI





TESTIMONIAL

“Türkiye is the Powerhouse for Tech, Talent, Value Creation”

Gökhan Nalbantoğlu
HEAD OF GLOBAL SALES,
SERVICES PORTFOLIO, SAP



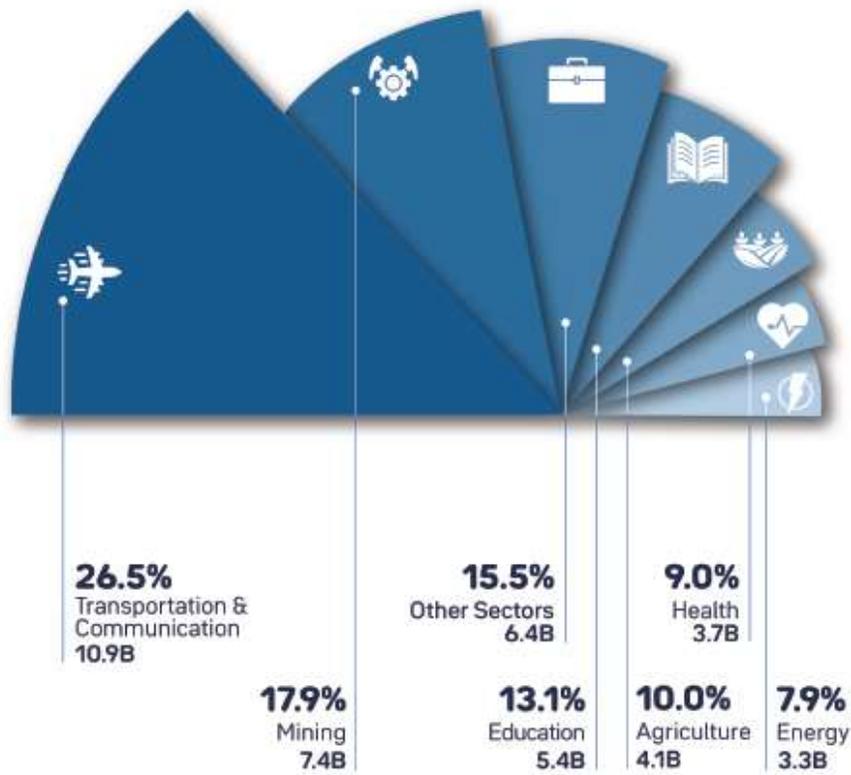
#NEXUS OF INVESTMENT



nexus OF THE WORLD

Sectoral Breakdown of the Public Investment Program 2026

Sectoral Shares
(USD Bilion)



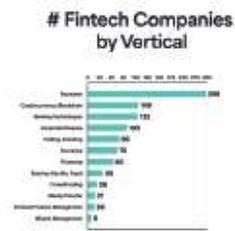
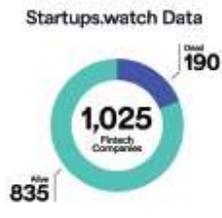
Source: Presidency of Strategy and Budget.





Fintech Snapshot for Türkiye

January 2026



Source: Startups.watch - January 2026 Report *As of January 31, 2026
 ** It shows the total amount of the deal size in which fintechs participated.
 Check startups.watch for updates. Foreign ventures in Türkiye are excluded.

 [CLICK TO READ](#)

Türkiye Foreign Direct Investment Strategy (2024-2028)



 [CLICK TO READ](#)

Invest In Türkiye Roadshow Booklet



 [CLICK TO READ](#)

WHY INVEST IN TÜRKİYE?



Subscribe to our newsletter to receive news and updates on Türkiye's investment environment and Investment and Finance Office's activities

 [CLICK TO READ](#)



 [CLICK TO READ](#)

Foreign Direct Investment in Türkiye Century



 [CLICK TO READ](#)

Guide to State Incentives for Investments in Türkiye



 [CLICK TO READ](#)

Türkiye: Nexus of Investment



WHY TÜRKİYE

TÜRKİYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a 4-hour flight, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **1,358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 273 billion** of FDI between 2003-2024, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

EURASIA

GDP: \$2.8 trillion
Import: \$467 billion
Population: 244 million

EUROPE

GDP: \$24.9 trillion
Import: \$8.3 trillion
Population: 595 million

MENA

GDP: \$4.4 trillion
Import: \$1.5 trillion
Population: 472 million

TOTAL

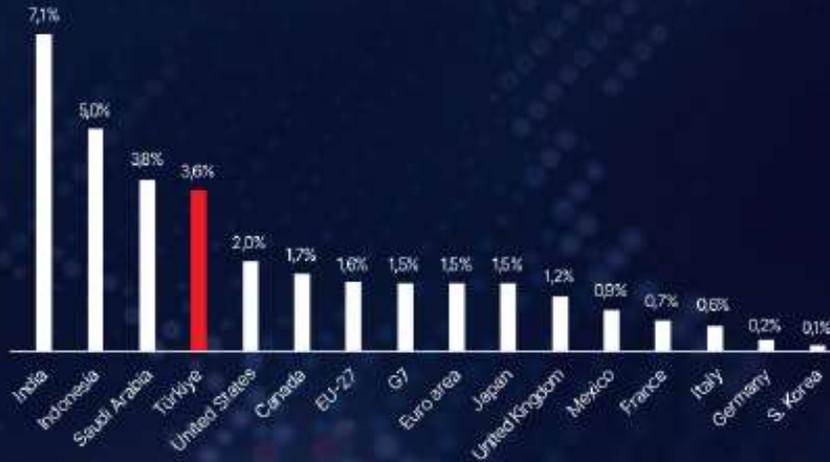
GDP: \$32.1 trillion
Import: \$10.3 trillion
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024

REAL GDP GROWTH

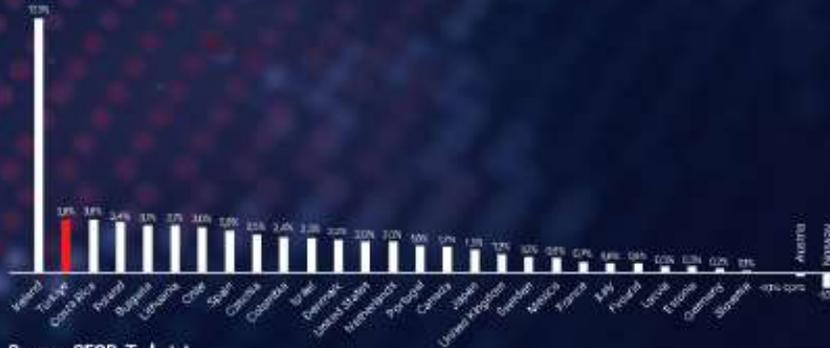
(2025-H1, year on year growth)

G20 Economies



Source: OECD, Turkstat

OECD Economies



Source: OECD, Turkstat

TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2024, with an average annual growth rate of

5.3%

CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)



Source: CBRT

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

HIGHLIGHTS

The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.

(2003-2024, TurkStat)

SOPHISTICATED CONSUMER BASE

**A population of 85.7 million,
half of which is under the age of 34,4.**

(2024, TurkStat)

**Largest youth population compared with
the EU.**

(2023, Eurostat)

**96.4 million fixed and mobile broadband
internet subscribers.**

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

**Around 36 million young,
well-educated and motivated professionals.**

(2024, TurkStat)

**Around 960,000 students graduate annually
from 208 universities.**

(2024, CoHE)

TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

 **USD 215 Billion**

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **272**

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **27,797**

Total number of hospital beds under PPP projects.
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.

 **58**

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

What we do

- Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.
- Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.
- Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

OUR GLOBAL LOCATIONS

-  USA
-  GERMANY
-  ITALY
-  SPAIN
-  NETHERLANDS
-  **TÜRKİYE**
-  S. ARABIA
-  UAE
-  QATAR
-  CHINA
-  S. KOREA
-  JAPAN
-  UK
-  SINGAPORE
-  MALAYSIA

SECTORS

- Agrofood
- Automotive
- Chemicals
- Defense & Aerospace
- Energy
- Financial Investments & Startups
- ICT
- Infrastructure
- Life Sciences
- Machinery
- Business Services
- Financial Services
- Mining & Metals
- Real Estate
- Tourism



Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.

FOLLOW US



@InvestTurkey
@InvestTürkiyeAR
@InvestTR_DACH
@InvestTR_JAPAN



@InvestTurkey
@investinturkiyear
@investinturkeyDE



@invest-in-turkey
@investinturkiyear
@investtrdach



@InvestinTürkiye



@investinturkiye_en
@investinturkiye_ar

